

大石田町議会政策提言書

「心豊かに幸せ感じるまちづくり」を掲げる村岡町政ですが、現在、国土交通省が計画し進めている、最上川中流・上流緊急治水対策プロジェクトについて、議会及び町民に対し、数回の計画説明が行われました。

国土交通省は10月31日、虹のプラザで行われた住民説明会で、概ね了承を得たとして、事業を進めようとしています。しかしながら計画用地及び近隣の住民からは、「町は国土交通省の計画に対しどう考えているのか」、「移転先の提示も無く、今後どうなるのか不安である」、さらには「大橋の架け替えについては、町を分断する様な橋には賛成できない」など、多くの疑問や反対の意見が寄せられています。

については、町が直面している状況に対し、より有効な施策を実施していくため、議会として、以下のとおり提言します。

1. 町の説明会の早期開催を

国土交通省の最上川治水対策事業について、町の考えとスタンスを明確にし、町民に考えを伝え、町民から意見を聞く機会を早期に設けること。

2. 住民理解の計画策定を

住民からの意見をもとに、町民が出来る限り納得できる計画を策定すること。

3. 町内移転に向けた条件等の提示を

移転対象となった住民に対して、「町に残ってほしい」という思いを明確に示し、町内への移転を優先できるよう移転場所や条件等を提示すること。

令和4年11月29日

大石田町議会